

科学 から探る アート

研究最前線

Summer Symposium 2017
Interconnection
between Art and Science
from ITALY to JAPAN

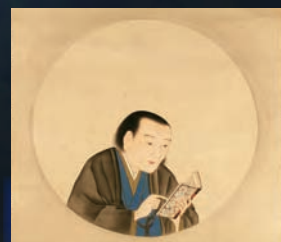
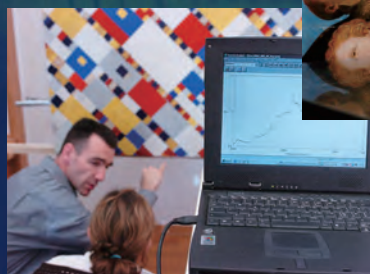
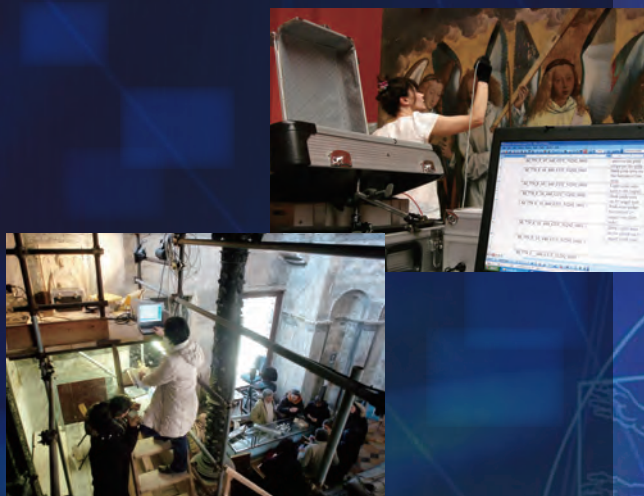
日時：2017年7月17日(月・祝)
13:00~17:00(入場受付は30分前から開始)

場所：大阪大学中之島センター10F
佐治敬三メモリアルホール

入場料：無料

主催：2017適塾ダヴィンチプロジェクト・シンポジウム実行委員会
共催：大阪大学 知の共創プログラム「適塾ダヴィンチプロジェクト」
協力：大阪大学総合学術博物館／大阪大学適塾記念センター／
大阪大学21世紀懐徳堂／大阪大学大学院理学研究科
制作：松田祥宏(studiomeets)

TEKIJUKU
DAVINCI
PROJECT



写真上：南雄画、篠崎小竹賛
「緒方洪庵肖像」(部分)嘉永3年(1850)
画像提供：大阪大学適塾記念センター



Symposium 《シンポジウム要旨》

昨今、アートとサイエンスの共創には目覚ましいものがあります。アート作品を科学的に分析する研究は盛んになってきており、欧州、特にイタリアにおいて一日の長があります。本シンポジウムでは、イタリアの文化財科学の第一人者であるブルネッティ教授（ペルージャ大学）を迎え、アートとサイエンスの関わりとその可能性についてお話し頂きます。その最先端の研究に加え、大阪大学の文化財に対する科学的アプローチを紹介し、交差する二つの境界に迫ります。

Timetable 《タイムテーブル》

第一部

総合司会：山本ミッシェールのぞみ

13:00-13:20

文化財としての適塾

“Tekijuku” as Cultural Asset

松永 和浩（大阪大学適塾記念センター准教授）

13:20-13:40

サイエンスから探る新たな歴史文化保全 —適塾ダヴィンチプロジェクト—

Multidisciplinary Science on Arts and Culture - Tekijuku Da Vinci Project-

伊藤 謙（大阪大学総合学術博物館特任講師〈常勤〉）

13:40-14:00

大気圧質量イメージング法の研究 ～ナノ液体で化学成分の分布を可視化する!～

Study on Atmospheric Pressure Mass Imaging Method

- Challenging to Visualize distribution of chemical components with nano liquid -

大塚 洋一（大阪大学大学院理学研究科助教）

14:00-14:10

質疑応答

14:10-14:30

カフェブレイク

第二部

コーディネーター：ヴィンセント・アクアランティ（ペルージャ大学終身教授）

座長：笠井俊夫（大阪大学名誉教授・国立台湾大学客員教授）

同時通訳：伊藤 律子、山本ミッシェールのぞみ

14:30-15:30

Science and Art : The Painted Surface

サイエンスとアート -科学で絵画を探る-

ブルーノ・ブルネッティ（ペルージャ大学教授）

15:30-15:50

質疑応答

15:50-16:00

休憩

16:00-16:30

The detection and identification of dyes and organic pigments in artworks by Surface Enhanced Raman Spectroscopy

ラマン分光法による染料と顔料の検出と同定

ブレンダ・ドーティー（ペルージャ大学研究員）

16:30-16:40

質疑応答

16:40-17:00

総合討論



Bruno Brunetti



Brenda Doherty

科学 から探る アート

研究最前線

200名
入場無料

日時

2017.7.17

13:00~17:00

（入場受付は30分前から）

場所

大阪大学中之島センター10F
佐治敬三メモリアルホール

大阪市北区中之島4-3-53
TEL:06-6444-2100

ACCESS 《アクセスマップ》



- 京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分
- 渡辺橋駅より 徒歩約5分
- 阪神本線 福島駅より 徒歩約9分
- JR環状線 福島駅より 徒歩約12分
- JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分

適塾ダヴィンチプロジェクト・シンポジウム